

日本雪氷学会北海道支部創立 30 年記念をお祝いして

日本気象学会北海道支部長 黒 沢 真喜人

この度、創立 30 周年を迎えられた日本雪氷学会北海道支部の皆様、日本気象学会北海道支部を代表しまして心からお祝い申し上げます。

創立以来、支部の皆様が日本雪氷学会の中心的な役割をもって、国の内外に多大な業績を残され、また学術研究並びにその応用技術の開発、関連する知識の普及などを通して、地域社会の発展に寄与されたご尽力に衷心より敬意を表する次第でございます。

私共の日本気象学会北海道支部も、2 年前に満 30 年に達したところでございますが、当時の状況を伺いますと、貴支部の設立発起人会、設立準備委員会には、大学・研究機関並びに道内の公共機関、産業界の方々と共に、札幌管区気象台の有志も熱心に参画し、会議の開催もしばしば気象台で行われたとされております。発足の当初から両北海道支部が密接な関係のもとに発展してきましたことが伺われるところでございます。以来、貴支部の皆様が寒地の気候・地象、降・積雪、流・海氷その他、私共の支部にも共通の分野で築かれた業績が大きな支えとなって、今日の気象学の進歩並びに気象業務の充実をみるに至りましたことを深く感謝申し上げる次第でございます。

この 30 年間には、いわゆる高度経済成長、技術革新、高度情報化、国際化等々によりまして、わが国の情勢は大きく変わって参りましたが、今後も社会の各分野に、一層の安全性、経済性、利便性が求められ、そのための学問、技術、情報その他の進展が望まれる趨勢にあります。特に、冷涼寒冷季節が長く、気象の日々の変動の幅が極めて大きい北海道におきましては、大気・海洋・地勢などの自然環境が関係する課題への取り組みが益々重要になるものと思われまます。また、近年国の内外で大きな関心が集まっております地球規模の気候及び自然環境問題に関しましても、両北海道支部に共通な重要課題が山積していると思うところでございます。

日本雪氷学会並びに北海道支部の皆様が、これらの重要な分野の研究・開発に大きな役割を果たされますことを確信いたしております。私共の支部といたしましても一層皆様と協力して地域の発展に貢献すべく、努める所存でございますので、何とぞよろしくごお願い申し上げます。

貴支部の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの辞とさせていただきます。

